

県内アユ放流量と漁獲量の推移（令和5年4月蚕糸園芸課調べ）

年度（西暦）	放流量（キログラム）（推定尾数（万尾）※注1）					漁獲量（トン）※注2	全国順位	県産鮎放流重量割合（%）
	放流量計	琵琶湖産	県人工産	他県人工産	海産			
昭和50年度 （1975年）	13,046 （434）	12,166 （405）	880 （29）	0	0	365 （608）	13	6.7
昭和51年度 （1976年）	15,413 （513）	11,194 （373）	4,219 （140）	0	0	394 （657）	11	27.4
昭和52年度 （1977年）	17,367 （560）	10,266 （342）	4,933 （164）	0	2,168 （54）	516 （860）	8	28.4
昭和53年度 （1978年）	16,338 （536）	9,908 （330）	5,430 （181）	0	1,000 （25）	603 （1005）	7	33.2
昭和54年度 （1980年）	15,630 （508）	12,230 （408）	3,400 （100）	0	0	669 （1115）	5	21.8
昭和57年度 （1982年）	15,846 （357）	12,615 （315）	3,231 （42）	0	0	516 （860）	11	20.4
昭和60年度 （1985年）	17,696 （455）	13,816 （345）	4,449 （110）	0	0	319 （532）	18	25.1
平成2年度 （1990年）	26,160 （619）	22,030 （550）	4,130 （69）	0	0	183 （305）	29	15.8
平成5年度 （1993年）	33,706 （518）	27,730 （432）	5,476 （78）	0	500 （8）	111 （185）	30	16.2
平成6年度 （1994年）	36,100 （502）	27,290 （390）	7,810 （98）	0	1,000 （14）	150 （250）	29	21.6
平成7年度 （1995年）	39,577 （553）	29,228 （420）	9,349 （117）	0	1,000 （16）	113 （183）	32	23.6
平成8年度 （1996年）	36,478 （501）	23,069 （330）	11,349 （142）	0	2,060 （29）	102 （170）	34	31.1
平成9年度 （1997年）	32,790 （443）	15,845 （226）	11,175 （135）	0	5,770 （82）	93 （155）	35	34.1
平成10年度 （1998年）	32,346 （327）	5,044 （56）	16,421 （150）	9,431 （105）	1,450 （16）	88 （146）	33	50.8
平成11年度 （1999年）	33,325 （345）	3,900 （39）	20,672 （226）	7,965 （74）	788 （6）	62 （103）	35	62
平成12年度 （2000年）	31,422 （337）	0 0	26,412 （292）	5,010 （45）	0 0	57 （95）	35	84.1
平成13年度 （2001年）	26,141 （287）	200 （2）	20,128 （229）	5,813 （56）	0 0	53 （88）	35	77

年度(西暦)	放流量(キログラム)(推定尾数(万尾)※注1)					漁獲量(トン)※注2	全国順位	県産鮎放流重量割合(%)
	放流量計	琵琶湖産	県人工産	他県人工産	海産			
平成14年度 (2002年)	27,641 (289)	700 (7)	22,249 (250)	4,692 (32)	0 0	36 (60)	37	80.5
平成15年度 (2003年)	21,061 (212)	1,450 (12)	15,271 (163)	4,340 (37)	0 0	32 (53)	36	72.5
平成16年度 (2004年)	22,563 (229)	2,240 (20)	16,004 (160)	4,319 (49)	0 0	71 (118)	28	70.9
平成17年度 (2005年)	25,696 (225)	2,200 (18)	19,076 (172)	4,420 (35)	0 0	56 (93)	31	74.2
平成18年度 (2006年)	24,061 (207)	2,230 (20)	15,271 (131)	6,560 (56)	0 0	50 (83)	※注3	63.5
平成19年度 (2007年)	23,629 (207)	1,275 (13)	12,480 (90)	9,160 (81)	714 (23)	61 (102)	※注3	52.8
平成20年度 (2008年)	21,780 (235)	1,300 (16)	11,430 (128)	8,900 (85)	150 (5)	47 (78)	※注3	52.5
平成21年度 (2009年)	17,610 (139)	1,000 (8)	8,210 (67)	8,100 (54)	300 (10)	53 (88)	※注3	46.6
平成22年度 (2010年)	18,699 (134)	450 (3)	10,645 (67)	7,150 (50)	454 (14)	63 (105)	※注3	56.9
平成23年度 (2011年)	17,002 (137)	0	9,330 (82)	7,200 (40)	472 (15)	53 (88)	※注3	54.9
平成24年度 (2012年)	17,782 (129)	0	9,202 (77)	8,380 (46)	200 (6)	39 (65)	※注3	51.7
平成25年度 (2013年)	17,861 (127)	0	11,246 (87)	6,615 (40)	0	35 (58)	※注3	63
平成26年度 (2014年)	16,858 (128)	0	11,188 (91)	5,670 (37)	0	43 (72)	※注3	66.4
平成27年度 (2015年)	16,100 (123)	0	9,320 (78)	6,780 (45)	0	51 (85)	※注3	57.9
平成28年度 (2016年)	15,162 (115)	0	8,342 (70)	6,820 (45)	0	49 (81)	※注3	55
平成29年度 (2017年)	16,922 (131)	0	11,162 (93)	5,760 (38)	0	49 (81)	※注3	66
平成30年度 (2018年)	17,630 (134)	0	9,800 (82)	7,830 (52)	0	54 (90)	※注3	55.6

年度（西暦）	放流量（キログラム）（推定尾数（万尾）※注1）					漁獲量（トン）※注2	全国順位	県産鮎放流重量割合（%）
	放流量計	琵琶湖産	県人工産	他県人工産	海産			
令和元年度 （2019年）	18,475 （130）	0	8,980 （74）	9,495 （56）	0	40 （67）	※注3	48.6
令和2年度 （2020年）	16,090 （109）	0	8,390 （59）	7,700 （50）	0	29 （48）	※注3	52.1
令和3年度 （2021年）	16,135 （111）	0	11,635 （80）	4,500 （31）	0	23 （38）	※注3	72.1
令和4年度 （2022年）	15,220 （97）	0	10,020 （50）	5,200 （47）	0	77 （128）	※注3	65.8

※注1：放流尾数については、各種苗ごとに記録のあるロットの平均体重より推定した。

※注2：漁獲量については、平成17年度までは農林水産統計により、平成18年度からは蚕糸園芸課で求め、漁獲尾数（下段（万尾））は、漁獲アユの体重を60グラムで換算した。

※注3：平成18年度以降は、農林水産統計が実施されなくなったため、全国順位については未調査とした。